

# 呼吸器センター

専門領域：呼吸器内科、呼吸器外科、乳腺外科

## 後期研修プログラム

### 1. 呼吸器内科専門医コース

呼吸器内科専門コースでは、大学病院、学会認定研修施設に勤務して、呼吸器診療の臨床研修を継続します。

私たちの施設は、呼吸器関係では呼吸器内科、気管支鏡、細胞診、臨床腫瘍の認定施設となっており、内科指導医、呼吸器指導医、気管支鏡指導医、細胞診指導医、臨床腫瘍専門医、インフュージョンコントロールドクター、レーザー専門医が在籍しています。

呼吸器内科では、1名の主治医とともに指導医1人以上を含む4～5名でのグループで診療をしており、研修医は患者数名の主治医となって活躍してもらいます。

グループで担当する患者全員を診療対象とし、指導医および主治医グループのスタッフによる指導のもとで、呼吸器内科に必要な治療手技や検査手技を修得していただきます。

また、診療に必要な知識を深めるために、グループ回診は毎日、症例検討会は定期的に行われています。

#### 【到達目標】

1. 呼吸器内科医として診療できるレベルに到達すること。
2. 日本内科学会・感染症学会・呼吸器学会・呼吸器内視鏡学会・アレルギー学会認定医/専門医制度の主要項目を修得する。
3. 内科認定医と呼吸器専門医を取得する。

#### 【研修内容及び方法】

病歴・診察より臨床的問題を見つけ出し、その解決のためにどのような検査が必要で、どのような治療が必要となるかを考えて診療計画を立案し、指導医のもとで実行する。

#### 【取得内容】

1. 病歴聴取、身体所見、診断、治療
2. 基本的手技：採血、点滴のための血管確保、血液ガス分析、胸腔穿刺、中心静脈カテーテル挿入、喀痰グラム染色鏡検
3. 気管支鏡実技（気管支肺胞洗浄、生検を含む）
4. 感染症の診断での、遺伝子・細菌・ウィルス診断法の修得
5. 胸部X線写真、胸部CTなどの画像読影と診断
6. 呼吸機能検査法の修得

7. 免疫機能の測定法の修得
8. 感染症に対する原因検索のための検査の進め方の修得
9. 抗生剤の適切な使用法の修得
10. 急性呼吸不全の診断・治療・管理、呼吸管理（人工呼吸器、NIPPV導入、管理を含む）、気管内挿管
11. 慢性呼吸不全（慢性閉塞性肺疾患など）の診断・治療・管理
12. 気管支喘息の診断・治療・管理
13. HIVをはじめとする免疫不全疾患の診断・治療・管理
14. サルコイドーシス・肺肉芽腫症等の診断・治療・管理
15. 睡眠時無呼吸症候群をはじめとする睡眠呼吸障害の診断・治療、ポリソムノグラフィ検査の修得
16. 間質性肺疾患の診断・治療・管理
17. 肺血栓・塞栓症、肺高血圧の診断・治療
18. 肺癌の診断・治療・管理
19. 肺結核・非定型抗酸菌症の診断・治療・管理

#### 【学会活動などを通じた臨床研究法の修得】

1. 研修1年目 院内研究会、地方会、研究会などでの発表
2. 研修2年目 全国学会、国際学会での発表
3. 研修3年目 全国学会、国際学会での発表、論文発表

## 2. 呼吸器外科専門医コース

当科の後期研修は、呼吸器外科、腫瘍外科を目指す医師に対し、外科としての基礎知識、基礎技術はもちろんのこと、専門医として必要な知識を習得することを目的としております。外科専門医の修練と並行して、呼吸器外科専門医の修練も行います。呼吸器センターの特色として、呼吸器内科での研修や、乳腺外科専門医の取得も可能なカラキュラムとしております。また、呼吸器外科関連施設での研修も可能です。

現在、呼吸器外科専門医が3名、呼吸器外科指導医が1名在籍しており、2名が専門医研修の修練中です。2名が大学院に在籍しております。

**【到達目標】** 呼吸器外科医としての知識、技術を習得し、専門医習得への修練をすること。

#### 【研修内容】

主な研修内容は以下の通りです。

1. 手術
  - 1-1 肺部分切除術（術者、助手）
  - 1-2 肺葉切除術（術者、助手）肺区域切除術（助手）
  - 1-3 肺摘除術、胸膜肺摘除術（助手）

- 1-4 縦隔腫瘍摘出術（術者、助手）
- 1-5 膿胸（胸隔成形術含）、胸壁腫瘍（胸壁再建含）（助手）  
（いずれの手術も可及的胸腔鏡補助下に施行しております）

## 2. 病棟業務

- 2-1 気管支鏡、胸水穿刺、気管切開、中心静脈穿刺等の手技
- 2-2 術前処置、周術期管理、人工呼吸器管理等

## 3. 学会発表

- 3-1 全国学会発表 2回／年以上（日本外科学会、日本胸部外科学会、日本肺癌学会、日本呼吸器外科学会、日本臨床外科学会、日本嚢胞性肺疾患学会、日本内視鏡外科学会、日本癌治療学会、日本食道学会等）
- 3-2 地方会発表 2回／年以上
- 3-3 論文作成（研修期間に少なくとも2編以上を目標としている）

### 【研修終了後の進路】

- 1. 大学院進学（呼吸器疾患のテーマにより学位取得を目指す）
- 2. 国内留学（がんセンター等、要試験）等

## 3. 乳腺外科専門医コース

当科の後期研修は、乳腺外科、腫瘍外科を目指す医師に対し、外科としての基礎知識、基礎技術はもちろんのこと、専門医として必要な知識を習得することを目的としております。外科専門医の修練と並行して、乳癌検診、診断、手術、薬物治療、再発治療、緩和ケアなどの乳腺外科専門医に必要な修練も行います。呼吸器センターの特色として、呼吸器内科の研修や、呼吸器外科専門医の取得に可能なカラキュラムとしております。

現在、乳腺専門医が2名、乳腺認定医が1名在籍しており、2名が専門医研修の修練中です。2名が大学院に在籍しております。

**【到達目標】** 乳腺外科医としての知識、技術を習得し、専門医習得への修練をすること。

### 【研修内容】

主な研修内容は以下の通りです。

#### 1. 診断

- 1-1 乳癌検診、マンモグラフィ読影（資格取得必須）
- 1-2 超音波診断、超音波ガイド下細胞診
- 1-3 乳腺画像ガイド下生検（マンモトーム生検）
- 1-4 再発診断（CT、PET、骨シンチ、腫瘍マーカー）

#### 2. 手術

- 2-1 乳房切除術（術者、助手）
- 2-2 乳房温存手術（術者、助手）
- 2-3 センチネルリンパ節生検（術者、助手）

2-4 乳房再建術（インプラント再建、乳頭形成）（助手）

### 3. 薬物療法等

3-1 術後補助療法（ホルモン療法、抗がん剤療法、分子標的治療）

3-2 術前薬物療法

3-3 再発時治療、緩和ケア

### 4. 学会発表

4-1 全国学会発表 2回／年以上（日本外科学会、日本乳癌学会、日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本癌学会、乳腺に関する研究会）

4-2 地方会発表 2回／年以上

4-3 論文作成（研修期間に少なくとも2編以上を目標としている）

### 【研修終了後の進路】

1. 大学院進学（乳腺疾患または呼吸器疾患のテーマにより学位取得を目指す）
2. 国内留学（がんセンター等、要試験）等

## 4. 呼吸器センター大学院コース

大学院に入学し、呼吸器内科・呼吸器外科・腫瘍外科に関連した領域の研究を行います。

大学院コースは2年間の初期研修の後、大学院に進学して研究に従事するコースです。

研究領域は腫瘍学、分子生物学、生理学、病原微生物学などが含まれ、主に実験室で行う基礎的研究と、症例の経過や疾患に関連する臨床的な研究が行えます。

4年にわたり基礎・臨床研究の楽しさを経験し、4年間で医学博士の学位を取得することを目標にします。

また、臨床研修を継続しながら、大学院コースを選択する事も可能です。

学位の取得後は国内・海外留学や臨床医療を継続するかなどが選択できます。

大学院コースでの研究の指導は、3名の研究スタッフが行います。

### 【連絡先】

担当：呼吸器センター教授 大崎 能伸

旭川医科大学呼吸器センター

TEL：0166-69-3290（感染制御部兼用） FAX：0166-69-3299

Email：kokyu@asahikawa-med.ac.jp

※呼吸器外科・乳腺外科専門医コース担当：呼吸器センター准教授 北田正博